

伸びよう 伸ばそう 青少年

青い樹

A O K I
第20号



すごい先輩や仲間たちの活動を一挙公開!!

- 県立十和田西高等学校 ～ 観光科 ～
- 県立木造高等学校 ～ 駅からハイキング ～
- 学校組合立田代小中学校 ～ ひまわりの道づくり ～

青少年育成青森県民会議



次代を担う青少年が社会における自分の役割と責任を自覚し、心身ともにたくましく健やかに成長することは、県民すべての願いです。

青少年育成青森県民会議では、青少年の健全育成に向けて、関係機関・団体と連携して様々な取り組みを推進しています。

中 学生の皆さんは、将来のことについて、どんなふうを考えていますか？

将来の夢に向かって、いろいろと勉強や準備を始めている人もいれば、
大学進学や就職なんて、「まだまだ先のこと」だと思っている人も多いのかもしれない。

新 聞に、青森県の若者定着率が **約3割** だという記事がありました。

つまり、青森県で生まれ育った子どもたちの多くが大学進学や就職で県外に行き、
青森に残る人は、約3割だということです。

やりたい仕事がないから？ 都会にあこがれて？ 田舎はつまらない？
・・・でも、本当にそうなんですか？
実は、「住んでいるところが好き」と約8割の人が答えているのには!?

中学生に
聞きました

平成26年青森県青少年意識調査から

Q.1 「自分のことが好きですか」
という質問に

「好き」と答えた人は…………… **13.2%**

「どちらかといえば好き」
と答えた人は…………… **38.7%**



ちなみに

小学生では 好きが 26.4%
どちらかといえば好きが 47.4%
高校生では 好きが 11.3%
どちらかといえば好きが 40.8%

Q.2 性格についての質問で
「自信をもってやれることが多い」
という質問に

「そう思う」と答えた人は…………… **15.7%**

「ややそう思う」と答えた人は…………… **25.5%**

Q.3 「住んでいる地域が好きですか。」
という質問に

「好き」
「どちらか
といえば好き」
と答えた人は… **82.9%**

「どちらかといえば嫌い」「嫌い」
と答えた人は…………… **8.6%**



本当は、みんなが知らないだけで、まわりには「すごいモノや人・仕事」があるかもしれない。
生き生きと夢を追っている先輩がいたり、やりがいのある仕事が身近にあるのかもしれない。
今回の「青い樹」には、様々な人との出会いから、いろいろなことに挑戦して、自分たちの
地域で元気に活動している先輩たちの様子を紹介します。

みんなも一歩踏み出して、いろんなことにチャレンジしたら、今までとは違った自分を発見
したり、自分自身に自信を持てたり、新たな夢や目標ができるかもしれません。

十和田の誇りは十和田の元気！ 人を磨けば地域が光る！

観光科

県立十和田西高等学校

十和田市に1989年
(平成元年)開校した
県立学校です。



県内唯一の「観光科」で、観光資源を学習するだけでなく、地域と連携して実際に奥入瀬渓流などの観光PRを行っています。

十和田バラ焼きゼミナールとともに平成23年から町おこしボランティアも行っていきます。

観光ボランティアガイドウォーク

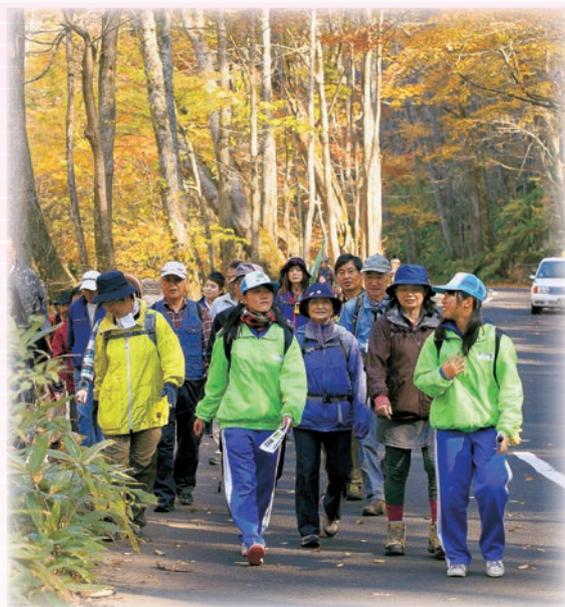
「おもてなしの心」が一番大事！

奥入瀬渓流エコロードフェスタで、観光課の生徒による観光ボランティアガイドウォークが行われました。

ガイドウォークではたくさんの観光客を案内し、紅葉の奥入瀬渓流を散策してもらいました。

参加したお客さんの声

最初は少し緊張気味でしたが、参加者の笑顔で徐々に声も大きくなり、慣れてきた様子でした。ガイド後半の名所では、ハンドマイクを手に、堂々と自信を持ってガイドする様子が見られました。



十和田バラ焼きゼミナールとB-1グランプリ



授業風景

B-1グランプリの参加にあたっての、十和田バラ焼きゼミナールとの合同練習での授業では、「十和田の誇れるところ・眠っている宝を磨いて外に発信すること」や「自分たちに何が出来るか考えて行動すること」を学びました。

また、その授業で学んだ事を伝える「おもてなし講座」を小学生対象に開催しました。「十和田のすごいところ、誇れるところを皆に知ってもらいたい！」そんな熱い思いは、きっと小学生に伝わったはずです。



待ち時間も楽しく！
幸運のハート型ぶちぶち
「来場者へ…愛を込めて」



おもてなし講座(高校生から小学生へ)



ロールの状態で、1万枚を
全校生徒で切り取りました。

眠っている「宝」
磨いて光らせ
「何もない」ふる
自分たちが

自分の中に眠る魅力を発

B-1グランプリでは、朝から晩まで、汗だくになりながら一人ひとりが責任をもって、自分の役割をこなします。

「十和田バラ焼きゼミナールに入りたい」という生徒は、沢山います。でも生半可な気持ちだと続きません。

同じ志で結ばれたチームが、十和田バラ焼きゼミナールなのです。

目的は「地域の元気のため、十和田のため、自分たちのため」。

そんな思いとともに、十和田をPR、お客様をおもてなし！



今年のB-1は10/3~10/4、十和田市で開催



それぞれの持ち場で…
「精一杯ヤル！」

平成26年のB-1
グランプリ in 郡山
において、ついに
ゴールドグランプリ
を獲得！



「自分磨きするのは誰？
いろんな人たちが協力してくれるけど、
自分磨きは自分でするしかないからな。
頑張っ磨けよ」って、活動を通して
それを子どもに伝えたい。
(バラゼミ 舌校長 畑中宏之さん)



皆のこれからの人生、様々な場面がバラ色に輝きますように！
「ラ・ヴィアンローズ! (バラ色の人生を)」



を見つけ出し、
発信する。
さとなんてない。
どって同じ。
掘し、磨いて発信しよう！



胸をはって言うよ
この街が大好き
いい所も悪い所も
全部ぜんぶ
君に伝えたい
この街が大好き
春も夏も秋も冬も
全部ぜんぶ
僕らに出来ること
君につなげること
明日につなげることを
まだ手探りだけど



(B-1グランプリ公式ソング「この街と」
中島 美華 作詩・作曲 から)

失敗を恐れずチャレンジ! 地元の魅力も自分の魅力も再発見!



地元高校生が木造町内の観光コースをネイティブ津軽弁で案内。若々しい「けっぱれんじゃー」の活躍が大好評でした。



「けっぱれんじゃー」たちの感想

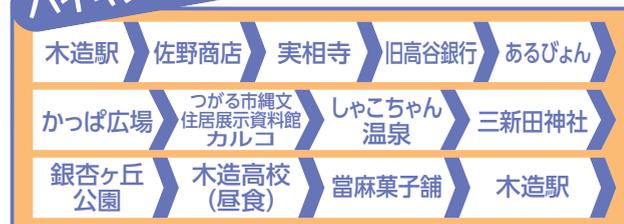
- ◆ 地域活性化を目的とした「駅からハイキング」では、コースのプランを練ったり、ガイド方法を工夫したり、ご当地グルメを開発したり…と、木造の魅力を発見。木造を深く知ることによって地元へ愛着と誇りを持つことが出来ました。
- ◆ 「ゼロから企画!」だったので、準備がすごく大変でしたが、仲間と一緒に作り上げる作業は楽しかったです。妥協せず最後までやり抜くことができたので、自分に自信が持てました。
- ◆ 高校生でも、大人の人や地域を動かすことができたことで、地域に貢献できる人材になれたと実感しています。これからも、失敗を恐れず、自分自身の可能性へチャレンジし続けます。



他県の人には、衝撃的な甘さ?!



ハイキングコース



駅から ハイキング 県立木造高等学校

つがる市にある県立高校。
総合学科ビジネス系列
に学ぶ高校生の
取組です。

木造には、本当に『すごいモノ』がたくさんあるんだよ〜。



ひまわりのようにまっすぐに！ 願いをつなげる「ひまわりの道」



田代小中学校は、通学路を一望する「オアシス坂」の上にあります。

その通学路に、昨年、地域の方からいただいたひまわりの苗を地域みなさんと一緒に植えて、『ひまわりの道』を作りました。

そして、今年はそのひまわりから採った「種」を植え、毎日水やりをして『ひまわりの道』の手入れをしています。

オアシスとは…
おはよう・ありがとう・
しつれいします・すみません
の最初の1文字を
とったもの。



ひまわりの 道づくり 学校組合立田代小中学校

階上町と八戸市をまたぐ
集落にある全校生徒
13人の小さな
学校です。

「ひまわりのようにまっすぐ育てほしい」
地域の方々の願いが込められたひまわりの苗。
その栽培を通し、様々なことを学び
成長してゆく子どもたち。
ひまわりの種から種へ、命を繋ぎながら、
地域の方々の願いも
後輩に引き継いでいこうと毎日頑張っています。



生徒たちの感想



- ◆ひまわりがにっこり笑っているように見えました。
(小5・女子)
- ◆また一つ、田代の自慢ができました。
(中3・女子)
- ◆僕たちは卒業しますが、「ひまわりの道」は今後も続けてほしいと思います。
(中3・男子)

団結！田代はひとつ 今日も明日もいつまでも



ひまわりの苗をいただいた大前さんと

